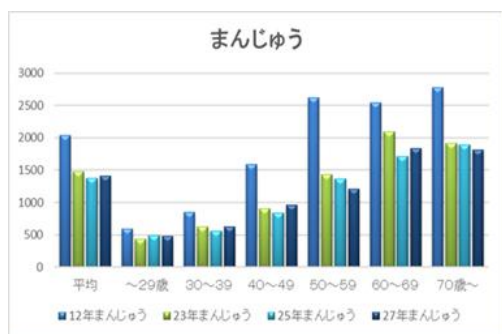




学生×企業による商品開発【第2弾】

株式会社青木商店×名古屋学院大学生＝鬼まんじゅう

名古屋学院大学では、岡本 純 商学部教授のゼミ生 8 名が、株式会社青木商店と協同で、鬼まんじゅう（ハッピーリング）の商品開発を行いました。7月19日（水）～7月21日（金）の15時00分～16時30分、本学名古屋キャンパス曙館1階食堂前にて開発した商品を販売します。学内での販売後、商品の評価、改善を行い、最終的にはアピタなどのスーパーマーケットでの販売を計画しています。



■ 各世代のまんじゅう購入額
出典：お菓子何でも情報館

■ ハッピーリング 3 個入りセット ¥300
①マロン ②チョコ ③プレーン

【鬼まんじゅう（ハッピーリング）の開発】

まんじゅうの購入額は、～30代、30代、40代、50代、60代と年齢層が高くなるに従い多くなっていますが、平成12年に比べ近年は各年齢層で減少しています（出典：お菓子何でも情報館）。そこで、異なる世代と一緒に食べることが出来るように3種類（マロン、チョコ、プレーン）の鬼まんじゅうをセットにした「ハッピーリング3個入りセット」を開発。「祖父母・孫関係など、異なる世代間で一緒に食べてもらうことで、繋がりを作る」をコンセプトに、ハッピーリングと名付けました。



学生×企業による商品開発【第2弾】

- 販売日時：2017年7月19、20、21日の3日間、15:00～16:30
- 場所：名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎曙館1F 食堂前
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1-25)
- 販売者：岡本 純 商学部教授のゼミ生 8 名
- 販売数：ハッピーリング 3 個入りセット ¥300
※19日（水）45セット、20日（木）100セット、21日（金）60セットを予定。